

2023年度事業報告書

【本部】

令和5年度は、こども園として3年目を迎え職員の確保も順調にでき勤務にも余裕のある保育・教育ができました。また、職員の有休消化も順調に出来ております。昨年度から障がい児保育も積極的に受入れてまいりました。2023年度は、3月の実績報告で医療ケア児1名・軽度障がい児8名となっております。また、2023年度も保護者アンケートを3月に実施しております。集計後、質問等に保育園からの回答を提示してホームページ等に掲示いたします。今後も、子どもへの最善の利益を追求してまいります。また、職員の質の向上に努め、健全児・障がい児の垣根をなくし保育の向上に努めてまいります。

12月に保育園に隣接する畑を農園として購入いたしました。また、1月には2024年度設置する予定の遮光ネットの入札会を行いチャイルド社に決定しております。

令和5年度は、理事会は、4回開催しております。理事1名の交代がありました。評議会については、今年度は、1回の開催となりました。

【施設】

年間行事については、別紙添付しておりますが、年長組のわくわく遠足を9月に行い雄大な阿蘇の山々を眺め猿回劇場を見学し、その後、平成28年4月に崩れた阿蘇立野大橋(通称赤橋)を下車して見学してきました。

今年度も、職員代表による保育園の自己点検・自己評価を行うとともに職員満足度調査も行いました。

1. 保育

年間通しての行事には大きな変更等はありませんが、今年度も感染対策を十分に行い健康管理や体力増進を行ってきました。(第二運動場の活用・農園活動等)

家庭との連携強化として、お便り帳や安心安全メールの活用と共に降園時の連絡や報告の充実を行いました。

2. 受け入れ園児について

3月1日付けで、1号園児19名・2号70名・3号62名で、園児総数151名となりました。

自主的一時預かりは、12月・1月・2月に1名が月10か前後の利用があり3月に1号園児として入園いたしました。

3. 給食

開園当初から続けています農園作業も職員も園児も慣れてきて播種から収穫まで楽しみに行っています。野菜は、2月にジャガイモの植え付けを行い6月に収穫します。5月にサツマイモの苗の植え付けを行い10月に収穫します。また9月の第1週に大根の種まき

をして11月中旬に収穫しました。今年度は、4歳児・5歳児のクラスでスイカ・トウモロコシ・小松菜・ブロッコリー・キャベツの栽培を行い、自分たちで育てた野菜なので嫌いなものも我慢して食べました。

給食では、3時のおやつにも工夫をこらし、基本材料等の変更はせず見た目と園児たちの心をつかむ事にも心がけ食の楽しさを提供してまいりました。

近年はアトピーやアレルギーの子ども達が増えてきたので、保護者、栄養士、クラス担任、主幹及び副園長を交え話し合いを設け除去食等も積極的に取り組んでいます。

4. 安全管理

登降園時の交通安全、災害訓練（消火・避難）、不審者に対する訓練、散歩先での交通安全を実施しました。不審者対応訓練もリアルさを出すために服装等にも毎回工夫をこらしました。

遊具等の安全点検も職員点検と年1回専門業者による点検を行うことにしました。

5. 保健衛生管理

児童及び職員の健康診断、歯科検診などによる健康管理に配慮し、次亜水の蛇口を給食室・調乳室、木浴室、園庭の足洗い場に設けています。食中毒の予防対策として手洗いやうがいを励行しました。調理においては、食品衛生法に基づく指導基準を守り、食中毒を起こさないよう衛生面に注意しました。特に今年は、コロナ感染予防のため、手洗いやうがい、手指の殺菌などは重点的に実施しました。

6. 小学校・地域との交流

9月に託麻校区老人会との交流で年長組が踊りや歌を披露して大盛り上がりを行いました。

小学校との交流

- ・6月 運動会への卒園児招待(小学生)
- ・8月 観劇会(卒園児小学生)
- ・10月 サツマイモ掘りに託麻東小5年生1クラスを招待し年長組と収穫を行う
- ・12月 年長組が託麻東5年生と1年生と日を別にして交流を行う
- ・1月 託麻東5年生を園に招待して年長組と交流を行う

7. 職員福利厚生

ユニフォームの定期的な貸与及びインフルエンザ予防接種の全額負担、キャリアアップ研修への参加も希望通りに消化しております。

福利厚生制度にも加入し(ふれあい共済)多くの職員が利用をしています。

職員の傷害保険も充実させ2023年度には、2名の職員が有効利用を行っています。